

2024 4/23・5/14 合併号

No.2209・2210

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



よこはま花と緑のスプリングフェア2024「花壇展」が30日まで、横浜市中区の山下公園で開催中。今年61回目を迎え、横浜植木などがカラフルな花々で意匠を凝らした花壇21区画が並び、家族連れらを楽しませている。



政経かながわ

2024 4/23・5/14 合併号
No.2209・2210

contents

視点点描	
未知の「震度」に備えて	3
特集	
GWの過ごし方「フリーダム」に 国内旅行や帰省 後半に人出増か	4
経済双眼鏡	
日本版「ロビー開示法」創設を 裏金事件の教訓、透明性の確保が必要	8
平井久志×リアルワールド	
タマネギと長ネギに負けた尹政権	9
よんななエコノミー	
日本の中の海外 成田空港「JAPAN FOOD HALL」	10
中カツ！通信	
AIで故人「復活」、動画サービス人気	11
蝶花楼桃花のNEWS著休め	
嘶家も体力が要るのよ	12
本の森	
マウンティング欲求との 正しい付き合い方も示唆	13
くらし2024	
合理的配慮の提供とは 障害者差別解消へ 改正法が4月施行	14
本郷和人 歴史の舞台をゆく	
安芸の毛利家、元就を生む	16
神奈川景気データファイル	
	18

事務局だより

◇2024年5月視察・定例講演会

5月27日(月)午後2時～5時40分
川崎・殿町キングスカイフロント(川崎市川崎区殿町)

講師：川崎市産業振興財団
理事長 三浦 淳氏

演題：かわさき産業まちづくり～この百年と未来～

講師：ナノ医療
イノベーションセンター
副センター長
永井 浩司氏

演題：キングスカイフロント及びiCONMについて

視察：Shimadzu Tokyo Innovation Plaza、ナノ医療
イノベーションセンター

交流会：川崎キングスカイフロント東急REIホテルにて

【お知らせ】決算総会は6月21日午後2時から神奈川新聞社で開催する予定で準備しています。

視点 点描



未知の「震度」に備えて

地震の揺れを感じたら、すぐにテレビをつける。速報される震度で地元の揺れを確かめ、被害や影響を想像する。そんな習慣がある人は少なくないのではないか。最近では位置情報などに応じて震度を通知するアプリもある。震度は身近な情報として、すっかり定着したといえるだろう。

きつかけとなったのは、1995年1月の阪神大震災だ。それ以前は気象台職員の体感や現地の被害調査などを踏まえて震度を決定していたが、96年以降は自動的に計測されるようになった。活用されている震度計は、気象庁だけでなく自治体や研究機関が設置したものも含め、全国に4300カ所以上もある。神奈川県は

100カ所ほどで、市区町村ごとの震度速報に役立てられている。世界有数の地震国である日本が誇る稠密な観測網ではあるが、震度を速報できないケースもないわけではない。元日に起きた能登半島地震、2018年9月の北海道胆振東部地震、4月で発生から8年となった16年の熊本地震、そして10月で20年となる04年10月の新潟県中越地震だ。

大きな被害を伴う地震の際は正確な震度を把握できない恐れがあるということだ。そもそも震度は地域の代表的な揺れを示したに過ぎず、地盤や建物などの状況次第で体感と異なる可能性がある。東京、横浜を中心に10万5千人余りが犠牲になった1923年9月の関東大震災の最大震度は「6」。当時は「7」という震度階級がなかったためだが、後の専門家の調査で横浜や横須賀、湘南、相模川沿いなどは震度7相当の激震だったと分析されている。以来、100年余り。神奈川県で震度7の地震はないが、今後はそうはいかないだろう。テレビをつける余裕などない未経験の揺れにどう備えるか。各地の教訓に学び、想像力を働かせなければ、命と地域はつなげない。

(神奈川県新聞社報道部長

渡辺 渉)